

平成26年度第4回富田林市入札等監視委員会（会議の概要）

1. 開催日時 平成27年2月17日（火）午前9時30分～

2. 開催場所 富田林市役所 2階 201会議室

3. 議 題

（1）委員の委嘱について

（2）入札及び契約手続きの運用状況等について（平成26年10月～12月）

①工事の発注状況について（報告）

（3）発注工事（抽出事案）に対する説明及び審議（平成26年10月～12月の3ヶ月分）

① 「20130915 大雨新北橋災害復旧工事」

② 「災害対策本部消防庁舎移転工事」

③ 「彼方3号送水ポンプ取替工事」

④ 「東条学童クラブ施設改修工事」

⑤ 「富田林市営プール開設工事」

【質問・意見等】

委 員：今回は高額で高落札率の案件を抽出した。入札参加業者数が少ないと思うが以前からこのような感じか。

事務局：建築工事については以前からこのような感じ。

委 員：案件②で失格になった業者はどのような理由で失格になったのか。

事務局：事後審査の届けが定刻までになかったため。

委 員：催促の連絡はしないのか。

事務局：連絡はしたが繋がらなかった。

委 員：完全な失念か。

事務局：その様に考えている。

委 員：案件②で辞退者の中に他の案件で落札している業者が複数いる。この案件を辞退した理由は金額的なものか。

事務局：一番は金額的なものと考えている。どの案件に入札するかという会社の戦略もあると思う。また手持ち件数の制限を設けているのでそれも気にしての事だと考える。

委 員：条件付一般競争入札で不調になると指名競争入札で入札をしているが、指名競争入札の結果をみると高落札率になっている。以前からこのような感じなのか。

事務局：ほぼそのような感じ。低価格で入札出来るのならば初めの条件付一般競争入札で入札に参加すると思う。

委員：条件付一般競争入札を意図的に辞退し指名競争入札にもっていくような動きはないか。過去にもなかったか。

事務局：無かったと考えている。

委員：全体的な傾向として労働者不足が影響しているか。

事務局：あると思う。

委員：よく、落札率が95パーセントを超えると談合の疑いがあるといわれるがこのような状況下では仕方がないということか。

事務局：その様に考えている。

委員：案件⑤で監理技術者を配置とあるが、どういう資格か。配置という条件は法的な要件になっているのか。

事務局：建設業法に定められた資格で、下請け総額が土木工事で3000万円以上、建築工事で4500万円以上になる場合は配置する事になっている。本市では独自の制度として設計価格が6000万円以上の案件については配置を条件としている。

4. その他

(1) 総合評価（市庁舎等清掃業務）入札制度について（説明）

事務局：〈市庁舎等清掃業務委託総合評価入札制度について説明〉

委員：清掃業務が総合評価入札制度になじむかどうか意見をいただきたい。

委員：平成21年度から実施しているが、今までと今回では何か変わっているのか。

事務局：ほとんど前回からは変わっていない。

委員：この業務以外で総合評価で行っている案件はあるか。

事務局：ない。

委員：そもそもこの業務を総合評価制度で行う理由は何か。

事務局：行政の福祉化の観点から大阪府などで庁舎清掃業務の総合評価入札制度を導入し、本市をはじめ多くの府内市町村で行政の福祉化の観点から総合評価制度を用いて庁舎等清掃業務の入札を行っている。

委員：前回の入札で参加者の点数はどうだったのか。

事務局：価格の評価が高かった業者が総合点でも高くなっていた。他市では価格面の評価を低くし別の評価項目を入れているところもある。検討したが前回と同様の評価項目とした。

委員：福祉に力を入れ障がい者の雇用を行うなどの努力が報われるようにしないと制度が形骸化してしまう。計画書があるが結果のチェックはどのようにしているのか。

事務局：担当課と連携し確認を徹底していきたい。

会長：原案のとおり実施という意見とする。

(2) 次回の開催日時について

(3) 議事録の署名委員と抽出委員の指名について

5. 出席者

委員 3 名、工事関係課 14 名、事務局 6 名